長崎県子連NEWS
あすをひらく子ども会

長崎県子連ニュース No.48
2024年（令和６年）３月

発行／一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会
〒850-0029 長崎市八百屋町36（長崎県教育会館内）TEL・FAX095-827-4574
URL https://www.kodomo-kai.or.jp/nagasaki/ e-mail nagasaki@kodomo-kai.or.jp

子どもたちが未来の希望を語れるまちづくり

一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会 専門委員長 谷口 久美子

令和５年度もいよいよまとめの時期となりました。今年度は各子ども会で、新たな思いで活動が展開されたことと思います。

私は、県子連の専門委員を務めて２年となりますが、子ども会での実践は不足しており、まだまだ力不足です。ここでは、私が現在取り組んでいる「まちづくり」の思いと「子ども会」への期待を述べようと思います。

○「横瀬地域づくり協議会」（令和５年５月設立）

私は現在、生まれ育った地域である西海市西海町横瀬郷に新たに設立した「横瀬地域づくり協議会」で、地域マネージャーを務めています。

協議会設立まで、約１年かけて有志のメンバーが集まり、複数回にわたるワークショップを重ねて、まちづくりの目標や10年間の事業・活動計画等をまとめて、準備をしてきました。そして、今年度から具体的に活動を始めています。

○「まちづくり」と「子ども会の充実」

我が協議会には現在、３つの部会があり、それぞれの目標、計画に沿って活動をしています。そのうちの「子どもたちの部会」では、「地域学習の設定」「子どもが安心して遊べる・学べる環境づくり」「国際交流・理解」等とともに、当初から「子ども会の活性化」を目標に掲げています。具体的には、「子どものリーダーの育成」「子ども主体の活動の企画」を明記しています。

今年度、早速、取り組んだのが「英会話・書道教室」の開設です。月１回土曜日の午前中に、地域の人が講師となって、公民館を活用して、英会話と書道を学ぶ場を設定しています。来年度も継続してこのような学ぶ場を提供し、子どもたちがその成果を発表する機会をつくりたいと計画中です。

○ふるさとを知り、愛し、誇りに思う「地域学習」

今年度、協議会と子ども会とが協働して取り組んだ事業の一つが「ウォークラリー」です。企画の原案は協議会で作成し、子ども会に協力を呼びかけた形となりました。域内にある３つの子ども会の会長に、企画のねらいを理解していただき、協議会と子ども会とで役割分担をして、事業を実施することができました。

当日は、幼児から小・中学生、高校生まで参加して、縦割り班編成で、クイズ解答やシール集めをしながら、郷内の歴史や文化、風習をたどるウォークラリーは、企画者の期待以上に、子どもたちは仲良く、楽しく活動できたようでした。同伴していた保護者も地域のことを改めて見直す機会となったようです。

○子どもが主体の活動を企画する

今年度は協議会や子ども会の育成者等、大人主導で行った活動が主となりました。この成果と反省を踏まえて、来年度は、各育成会とも事前によく連絡し、協議すること。そして、企画立案の場に子どものリーダーが参加して、子どもたち主体の活動を作り上げようと話し合っています。

地域づくりでは、将来、地域の主人公となるべき、今の子どもたちが、地域への希望や思いを積極的に発信し、主体的に関わることができるように仕組むことが必要と考えます。「子ども会」は、元気で明るい地域づくりの中核的存在になることができると期待しています。

第56回（令和５年度） 全国子ども会育成中央会議・研究大会（札幌大会）

本年度の全国大会は、令和５年10月27日（金）～29日（日）、北海道札幌市で開催されました。
今大会のテーマは、『これからの子ども会～子どもたちと地域の未来に向けて～』です。
全国から約500名が集まり、大会テーマのもと、熱心に研修するとともに、各種交流を深めました。長崎県からは北御門長蔵会長以下全子連表彰受賞者を含め６名が参加し、他県（政令市）子連と積極的な情報交換等を行い、有意義な大会となりました。

主催者

来賓

全子連表彰

全子連表彰

大会日程

大会１日目〔10月27日（金）〕
※アトラクション

１	開会式	14：00～
２	表彰式	14：30～
３	記念講演	
	・演題「子どもの心をのぞいてみれば ～地域医療から見る問題点と対策～」	
	・講師　中塚尚子 氏	
４	受賞者記念撮影	17：15～
５	受賞者を囲む会・情報交換会	18：30～

大会２日目〔10月28日（土）〕

１	分科会（午前の部）	9：00～
２	昼食	12：00～
３	全体会（分科会発表）	14：00～
４	閉会式	15：00～
５	視察	16：00～

大会３日目〔10月29日（日）〕

１	視察	8：15～
	・選択コースに分かれて研修（終了後　解散）	

開催趣旨（全子連）

テーマ「これからの子ども会
～子どもたちと地域の未来に向けて～」

子ども会活動が衰退の一因として、地域のつながりの希薄化があげられます。地域のつながりにおいて重要な地位を占める様々な地域活動の不活性状態が、地域の教育力の低下や目の前の行事をこなすだけの、『つまらない子ども会活動』にもつながっているのかもしれません。

子ども会活動において言われて久しい「地域の子どもは地域で育てる」というスローガンは、地域のすべての大人が関与し、地域の人々の多様性を認め、様々な地域活動を実施することにより、子どもたちに様々な気づきの機会を与え、子どもたちを取り巻く環境に、より良い体験の機会をもたらし、すべての子どもたちに、ウェルビーイング向上の可能性を秘めています。

こども家庭庁も発足し動き出した今こそ、時代変化に対応し、多岐に渡る地域課題に目を向けて、子ども会の様々な地域活動の先頭に立ち、けん引することが、これからの子ども会の役割として求められているのかもしれません。

今大会では、単位子ども会・育成者・指導者、連合組織、役員、地域課題、ＳＤＧｓ等、子ども会に係る様々な課題に着目し、９つの分科会を準備しました。時代の変化に対応しうる、これからの子ども会のかたちを、「北の大地　北海道」で未来に向けて研究協議します。

記念講演

受賞者を囲む会・情報交換会

分科会報告

次期開催県あいさつ

第54回（令和５年度） 九州地区子ども会育成研究協議会～熊本大会～

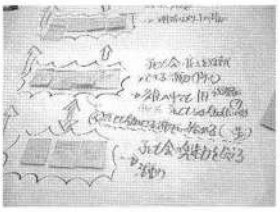
令和５年11月11日（土）～12日（日）：ホテル熊本テルサ

本年度の九州地区子ども会育成研究協議会は熊本市で開催されました。

大会テーマは「今こそ広げよう　子ども会会員の輪」～熊本発信、新たなるステージへ～です。

九州各県から約280名が参加し、熱心な研究協議が行われました。長崎県からの参加者は、九子連表彰受賞者を含め13名でした。

アトラクション



大　会　日　程

第１日目〔11月11日（土）〕

① アトラクション「ヴィーブル子ども劇団：演劇」

② 開会行事（開会式・表彰式）
- 主催者・来賓あいさつ
- 九子連表彰

③ 部会別研究協議
- 第１部会　かたらんね　子ども会会員の減少問題を考えよう１～みんなでワークショップ～
- 第２部会　かたらんね　子ども会会員の減少問題を考えよう２～事例発表をヒントに～
- 第３部会　かたらんね　子ども会運営について行政とともに考えよう～事例報告・ディスカッション～
- 第４部会　かたらんね　ユース（シニア）・ジュニアリーダーの魅力～事例発表・ワークショップ～

④ 情報交換会
- アトラクション「太鼓芸能集団　紬衣」

第２日目〔11月12日（日）〕

① アトラクション『菊陽南小学校「鼻ぐり井手劇」』

② 記念講演
- 演題　「夢を叶える為に」
- 講師　巻　誠一郎（元サッカー日本代表）

③ 全体会（部会報告）

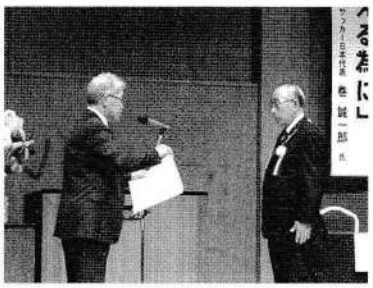
④ 閉会行事（閉会式・大会旗引継ぎ）
- 開催県あいさつ（熊本県）
- 大会旗引継ぎ
- 次期開催県あいさつ（沖縄県）

太鼓芸能集団　紬衣

開会式

バルーンでお出迎え

九子連表彰



九子連表彰

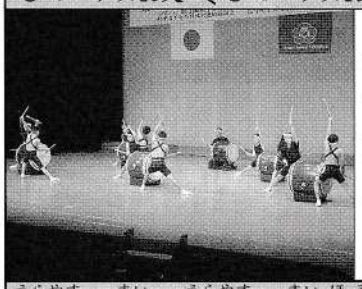
次回は、全国子ども会育成中央会議・研究大会が、九州地区子ども会育成研究協議会と共催で、沖縄県にて開催されます。

〔令和６年11月16日（土）～11月18日（月）〕

令和５年度第43回　長崎県子ども会伝承芸能大会 in 西彼杵郡

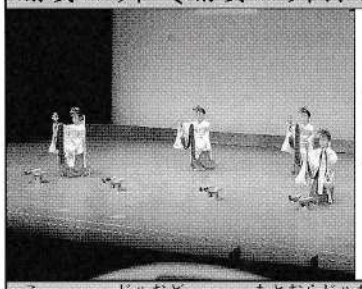
本年度で43回目を数える長崎県子ども会伝承芸能大会が、令和６年２月４日(日)、長与町民文化ホールにおいて開催されました。郡内はもとより県内各地から約360名の参観者がありました。開催にあたっては、地元時津町子ども育成会連絡協議会・長与町子ども会育成会連絡協議会ならびに両町教育委員会の多大なご支援とご協力をいただきました。出演団体には県子連会長から賞状と記念品が贈られました。

なづみ太鼓〔なづみ太鼓愛好会〕



なづみ太鼓愛好会は、昭和55年に町内の太鼓愛好者によって結成され、時津町にそびえる「鳴鼓岳」から名前をいただきました。平成８年からは、後世への伝承のため、小中学生を対象とした「なづみ太鼓ジュニア」を育成し、とぎつ夏まつりや成人式などの催しに出演しています。

浦安の舞〔浦安の舞保存会〕



浦安の舞の始まりは、昭和13年頃で、戦争での中断の後、昭和53年に復活し、その後は毎年奉納しています。浦安の舞は、護国豊饒、家内安全の願いが込められており、踊り手は子々川地区に住む小学６年生女子としていますが、近年は人数不足により、５年生を含めて奉納しています。

子ども龍踊り〔元村龍踊り保存会〕

元村子ども龍踊りは、平成23年から元村龍踊り保存会の子ども部として活動を続けています。小学生から中学生まで幅広く、低学年は楽器、高学年は踊り手として年齢・学年を超えて楽しく活動しています。毎年、地域の文化祭への出演や神社の秋祭りでの奉納踊りを行っています。

和太鼓〔本川内琴ノ尾太鼓保存会〕

昭和62年に、和太鼓による組太鼓を編成し郷土芸能として継承し、地区住民の親睦と地域発展を目的に「本川内琴ノ尾太鼓」が結成されました。青年、中高生、小若(小学生)で構成され、郷土芸能大会、公民館まつり等各種イベントに出演しています。

岡浮立〔長与北(岡浮立保存会)〕

岡浮立は、約300年の歴史を持つ行列浮立で、岡郷民がこぞって参加し、俗に岡の千人浮立と言われてきました。昔は稲の虫追いや雨乞いなどに行われ、近年では祝賀行事に催されています。出し物は先頭から傘鉾・カラ・矢箱・ネツヅミ・ササラ・笛・カケ踊り・太鼓・鉦と続きます。

県教委
加藤　盛彦 課長

時津町
相川　節子 教育長

長与町
金﨑　良一 教育長

時津町教委
大工園　徳隆 課長

時津町子連
山脇　清治 会長

長与町子連
松下　一徳 会長

長崎県子ども会指導者・育成者研修会〔島原市大会〕

1　日　時　令和６年２月18日(日)
　　13：30～16：30
2　会　場　島原市有明総合文化会館
3　内　容　①県子連表彰式
　　②開会行事
　　③実践事例発表
　　④研究協議会
　　⑤指導助言
　　⑥講評
　　⑦閉会行事

スタッフのみなさん

主催者挨拶　県子連
会長　北御門　長蔵

祝辞　県生涯学習課
課長　加藤　盛彦 様

祝辞　島原市教育委員会
教育長　堀口　達也 様

総合司会

研究協議会

研修テーマ	「子どもの手による子ども会」の定着と発展を図ろう ～ジュニア・リーダーの手による子ども会運営を目指そう～

☆実践発表

①有明地区子ども会育成連絡協議会
　松本　恒一 様
「子ども会活動の活性化を目指して」というテーマで取り組みました。有明地区では、小学生はほぼ100%の加入率です。子どもの健全育成が、明るい未来づくりへの一番の近道と信じ、取り組んでいきます。

②島原市子ども会育成連絡協議会
　野口　一徳 様
「子ども会活動を楽しもう」というテーマで本年度の市子連子ども会行事に取り組みました。役員の笑顔、協力と団結力を垣間見ることができました。このよい流れを継続するために今後は若手人材の発掘に取り組んでいきます。

☆指導助言

県子連専門委員
宮田　龍郎 先生
子どものために地域が一つになり、少しずつでも前進していきましょう。地域人材を活用しましょう。

☆講評

島原市　社会教育課
課長　中村　憲一 様
時代がどんなに変わっても子ども会の重要性は変わりません。今こそ子ども会を盛り上げていきましょう。

研究協議会のようす

☆閉会あいさつ

島原市子連
会長　吉田　　真 様
子どもの問題は大人の問題です。大人が子どものいい手本になりましょう。島原市には家庭教育三・三・七拍子があります。

令和５年度　全子連・九子連・県子連表彰　受賞者一覧表

令和５年度　全子連表彰

区分	地区	氏　　名	団体名および役職名	活動年数
個人	長崎市	大岩　道子	長崎市青少年育成協副会長	27年
個人	諫早市	宮田　龍郎	諫早市子連専門指導員	42年

大岩　道子夫妻 様

令和５年度　九子連表彰

区分	地区	氏　　名	団体名および役職名	活動年数
指導者	長崎市	宮崎　　孝	小島中校区青少年育成協会長	23年
	大村市	吉津　光浩	大村市子連一般理事	32年
	対馬市	春田　新一	対馬市青少年育成協会長	28年

宮田　龍郎 様

令和５年度　県子連表彰

〔　個　人　〕

区分	地区	氏　　名	団体名および役職名	活動年数
指導者	長崎市	安部眞由美	長崎市子連専門委員	21年

宮崎　　孝 様

〔　団　体　〕

区分	地区	団　体　名	子ども代表 育成者代表	活動年数
子ども会	川棚町	平島二・三・四丁目子供会	伊田　圭佑 伊田　幸一	72年
		平島一丁目子供会	岩井　竜也 岩井　和也	72年
		栄町子供会	岩崎　遼翔 岩崎　妙佳	72年

春田　新一 様

安部眞由美 様

平島一丁目子供会 様

お知らせ(安全会だより)

全国子ども会安全共済会へのネット加入ができる市町子連が増えています！

ネット加入のメリット

○ 前年度入力した名簿を次年度に移行でき、年齢も自動的に1歳アップします。
○ 追加行事の書類は不要です。行事の前日までに入力するだけで補償の対象になります。
○ 被共済者の変更は、備考欄に記入するだけですみます。変更届は不要です。

単位子ども会からの加入手続き

① まずは、所属の市町子連がネット加入を導入しているかを確認します。
② 全子連HPの安全共済会ネット加入ページに入ります。
③ ユーザーID・パスワードを独自に設定し、必要事項を入力して単位子ども会情報を登録します。
④ 登録が完了したら、ログインして加入者名簿や年間行事計画等を入力します。
⑤ 入力が終わったら、〈共済様式〉06と会費を市町子連に届けます。

市町子連での手続き

※ ネット加入の導入がまだの市町子連は、全子連HPからネット加入ページに入り、共済ネットID・PW発行依頼フォームよりID・PWを取得してください。
① 取得したID・PWでネット加入ページよりログインし、単位子ども会から提出された名簿・人数・会費等を確認します。
② 確認ができたら、従来どおり単子連より提出された〈共済様式〉06・県子連様式1・集計表・会費を県子連に届けます。
※ ネット加入を採用した単子分の名簿や計画書の書類が無くなります。

☆全子連のネット加入ページに分かり易いマニュアルがありますので、ご参照ください。

令和6年度　県子連主要事業計画(予定)

事業名	開催日	会場
県子連第1回理事会	5月17日(金)	県教育会館大会議室
県子連評議員会	6月7日(金)	県教育会館大会議室
安全啓発〔初級〕指導者養成講習会	6月22日(土)	県教育会館大会議室
県子連ジュニア・リーダー研修会	7月20日(土)～22日(月)	上五島海洋青少年の家
九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会	8月10日(土)～12日(月)	宮崎県青島青少年自然の家
全国子ども会育成中央会議・研究大会	11月16日(土)～18日(月)	沖縄県：那覇市文化芸術劇場
県子連伝承芸能大会	2月9日(日)	相浦コミュニティーセンター
県子連指導者・育成者研修会	未定	西海市
県子連第2回理事会	2月28日(金)	県教育会館大会議室

令和５年度　市町別加入会員数と加入率

令和６年２月１日現在

市町名	単子数	加入会員数（人）						加入率(%)〔加入数／児童・生徒数〕			
		未就学児（0-5歳）	小学生	中学生	高校生	指導者育成者	合計	未就学児（0-5歳）	小学生	中学生	小中計
県計	1,429	2,290	25,580	4,870	304	20,205	53,249	4.4%	38.9%	14.0%	30.3%
長崎市	168	249	3,845	395	51	2,085	6,625	1.7%	20.3%	4.0%	14.7%
佐世保市	193	251	4,306	578	11	3,018	8,164	2.5%	34.1%	8.6%	25.3%
島原市	132	256	2,198	241	7	2,612	5,314	14.7%	96.7%	22.1%	72.5%
諫早市	153	266	2,977	650	0	2,286	6,179	4.5%	40.3%	15.7%	31.4%
大村市	51	113	757	130	27	741	1,768	2.1%	11.9%	4.3%	9.5%
平戸市	92	121	1,013	296	7	848	2,285	11.7%	74.0%	40.7%	62.4%
松浦市	59	61	654	268	15	748	1,746	8.2%	61.4%	45.0%	55.5%
対馬市	19	2	326	151	0	194	673	0.2%	25.7%	22.1%	24.4%
壱岐市	18	17	782	163	0	160	1,122	2.0%	60.2%	23.4%	47.4%
五島市	47	56	910	137	10	544	1,657	4.8%	64.4%	18.0%	48.1%
西海市	57	118	1,000	437	19	1,001	2,575	13.3%	86.2%	71.1%	81.0%
雲仙市	101	256	1,473	356	0	1,758	3,843	16.1%	71.2%	35.0%	59.2%
南島原市	145	137	1,606	62	9	1,639	3,453	9.8%	84.3%	6.3%	57.7%
市計	1,235	1,903	21,847	3,864	156	17,634	45,404	4.1%	36.9%	12.5%	28.6%
西彼杵郡											
長与町	23	29	625	14	1	152	821	1.5%	26.6%	1.3%	18.6%
時津町	25	131	901	69	0	489	1,590	8.6%	53.5%	4.8%	31.1%
東彼杵郡											
東彼杵町	20	19	269	55	0	186	529	8.1%	70.6%	28.2%	56.3%
川棚町	33	50	588	241	2	645	1,526	9.5%	89.2%	73.7%	84.1%
北松浦郡											
小値賀町	17	28	72	39	16	51	206	41.2%	88.9%	90.7%	89.5%
佐々町	24	52	697	322	5	505	1,581	6.2%	73.1%	70.6%	72.3%
南松浦郡											
新上五島町	51	78	581	266	124	534	1,583	16.7%	97.3%	79.2%	90.8%
郡計	193	387	3,733	1,006	148	2,562	7,836	6.9%	55.7%	26.0%	44.8%
※事務局	1	0	0	0	0	9	9	算出基準の未就学児・児童・生徒数は、令和５年度長崎県統計による			
合計	1,429	2,290	25,580	4,870	304	20,205	53,249				

※　長崎県子連会員数の推移

年度	単子数	加入会員数（人）						加入率〔加入数／児童・生徒数〕			
		未就学児	小学生	中学生	高校生	育成者	合計	未就学児	小学生	中学生	小中計
R５年度	1,429	2,290	25,580	4,870	304	20,205	53,249	4.4%	38.9%	14.0%	30.3%
R４年度	1,472	2,453	27,370	4,993	313	21,198	56,327	4.5%	40.8%	14.3%	31.7%
R３年度	1,523	2,712	29,133	5,254	319	22,210	59,628	4.7%	42.8%	14.8%	33.3%
R２年度	1,595	2,968	31,290	5,667	283	23,478	63,686	4.7%	44.8%	15.9%	35.0%
R１年度	1,716	3,517	34,013	6,254	319	25,837	69,940	5.6%	48.3%	17.4%	37.8%
H30年度	1,779	3,579	35,567	6,690	315	26,850	73,001	5.5%	49.9%	18.3%	39.2%
H29年度	1,819	3,682	36,713	7,144	357	27,818	75,714	6.0%	51.0%	19.0%	40.0%
H28年度	1,879	3,870	38,686	7,950	438	29,007	79,951	6.0%	54.0%	21.0%	42.0%
H27年度	1,927	3,704	40,139	8,591	433	29,922	82,789	5.0%	56.0%	23.0%	44.0%